

教育委員長 年頭所感



教育委員長 天宮 久嘉

新年明けましておめでとうござい  
ます。

初春のお慶びと共に年頭にあたり  
一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は「戦後70年」という節目を  
迎え日本の安全保障のあり方が問わ  
れましたが、世界に目を向けますと、  
内戦によるシリア難民問題などは日  
本も喫緊の課題として国際社会から  
対応を迫られています。また、4月  
にはネパールの首都カトマンズをマ  
グニチュード7.8の地震があり、ネ  
パールを中心に隣国のインドや中国  
でも大変な被害が出ました、被災エ  
リアには山間部が多く道路が寸断さ  
れ救援物資の補給が遅れ、現在も復  
旧が進まぬ状況です。特にネパール  
は国民の半分が18歳未満であり、子  
どもたちへの影響が心配されます。  
ユニセフによると、今回の地震によ  
り100万人の子どもが被災したとされ  
ており子どもたちへの支援が必要と  
なっています。ところが現場で活動

しているNGO団体によると被災に  
よりコミュニティが崩れ、子供たち  
に目が届かなくなっている状況の中、  
家族や住む場所を失った子どもたち  
に支援者を装って近づき連れ去る人  
身売買事件が相次いでいるとのこと  
です。こうした子供たちを守るため  
にも、インフラ等のライフラインも  
大事ですが、同時に一日も早く地域  
コミュニティを建て直すことが必要  
です。東日本大震災を経験し多くの  
国から支援を受けた日本が果たすべ  
き役割は大きいと思っています。

現在、国際的に「子供の人身売買」  
は問題となっております。国内だけ  
でなく世界の子どもの安全や人権に  
ついて、今一度大人も子どもも交え  
て再考することは、私共葛飾の子ど  
もたちの安全や貧困、いじめ、人権  
問題解決に繋がるのではないかと思  
います。

現在、葛飾区基本計画において11  
の重要プロジェクトの一つとして、「か  
つしか学力向上プラン」が掲げられ  
ております。保護者アンケートにお  
いても「学力向上」「コミュニケーション  
能力を高める取組」「指導力の向上」  
等が求められております。

一昨年から実施しております「か  
つしか教育プラン2014」に基づ  
き、引き続き今年度も「かつしかつ  
子」宣言の取組を葛飾区内の全学校・  
園において進めております。この「か  
つしかつ子」宣言は、教員の指導の

もとに、全ての子どもたち自身が「行  
動計画」を考え、全教育活動におけ  
る具体的な実践を通して主体的に取  
り組む児童・生徒を育成することを  
目標としています。

日常生活の中で子供たちが自ら実  
践する行動の規範を示したものです。

- ・人にやさしくします
- ・あいさつで心をつなぎます
- ・約束を守ります
- ・自分で考え行動します
- ・仲間と力を合わせます

この5項目は子供たちだけでなく  
学校、家庭、地域、行政が総ぐるみ  
で次代の葛飾、日本を担う子どもを  
育む上でのよりどころとなるもので  
す。

葛飾区は「地元意識が強く地域で  
のまとまりがありコミュニケーション  
が取りやすい」という素晴らしい特性  
を持つ区でありますので、その「かつ  
しからしさ」を活かし区民の皆様と  
協働し葛飾の教育向上に全力を挙げ  
て取り組む所存でありますので、ご  
理解、ご協力をお願い申し上げます。

27年11月24日付で、天宮久嘉氏が教育  
委員長に就任し、松本 實氏が教育委員  
長職務代理者に指定されました。

また、松本 實氏の任期満了に伴い、  
27年12月25日付で、日高芳一氏が教育委  
員長職務代理者に指定されました。

その他の教育委員会の議案・報告事項  
等については、葛飾区ホームページ  
<http://www.city.kasusaka.lg.jp> を  
ごらんください。



教育長 塩澤 雄一



教育委員 竹高 京子



教育委員 塚本 亨



教育委員 杉浦 容子



教育委員長職務代理者 日高 芳一